

Weekly Reports 2022-2023



国際ローター第2680地区

Rotary
加古川ロータークラブ



2022-23年度RI会長: ジェニファー・E. ジョーンズ地区ガバナー: 阪上 栄樹
加古川ロータークラブ会長: 芝本 忠雄 / 幹事: 木下 正隆
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和5年1月17日(火) 晴 No. 24



▲会長挨拶



▲会長と野際勝利会員



▲クラブ協議会進行の幹事

会長の時間

会長 芝本 忠雄

皆さん、こんにちは。

松の内も終わり、松の飾りは取れたものの、今年はコロナ禍でこれまで中止になっていた年賀交歓会等の新春行事の復活で多忙な毎日が続いておりますが、如何お過ごしでしょうか？

さて、今日1月17日はあの未曾有の阪神淡路大震災の発生日で、今年で早28年が経ちます。メディアも連日特集番組を放映し、実際に経験した我々も昨日のここのように思い起こされます。今日も神戸では、「ひょうご安全の日のつどい」が開催され、先程、追悼式が行われました。コロナ禍で中止になっていたブース展示も今年は再開され、弊社も出展して災害防止の観点から関連機材の展示を行っています。これまで経験したことのない、我々ではどうすることも出来ない災害を皆さんはどう受け止められましたか？自然災害は防ぐことはできませんが、被害を最小限に抑えるにはどうしたらいいか、私は毎年のこの日に思い起こし、思案しています。

今日は「防災とボランティアの日」です。そして1995年が「ボランティア元年」と言われています。戦後核家族化が進むと同時に自治会活動等も消極的になっていましたが、この時ほど近隣の方々と力を合わせたこともなかったのではないのでしょうか？

震災の前年、1994年、私は当時日本青年会議所の環境政策委員会の副委員長としてヨーロッパ環境ミッションの担当でツアーを企画、第2回世界環境サミットに参加しました。現地でのいろいろな交流をする中で、ボランティアに対する認識が変わりました。それまで「ボランティアとは無償奉仕すること」と思っていたのですが、「ボランティアとは専門的な技術をもって奉仕すること」と教えられました。例えば、点字ボランティアは点字を理解し使用できる人しかできません。医療ボランティアは医療従事者しかできません。では、自分自身の持つ専門技術、自分の会社の持つ専門技術を使ってどんなボランティアが出来るのだろう？あの日から「ボランティア」という言葉を耳にするたび、そのことばを思い起こしていました。

そして翌年、1995年阪神淡路大震災は起こりました。その年は青年会議所の兵庫ブロックの副会長として、まさに1月17日が第1回の全体会議の日でした。

8時半に生田神社に集合し、10時より会議が始まるというその当日に起こった震災です。現地がどうなっているのか報道もされていませんでしたし、兵庫県北部の多くのメンバーは、何も知らずに神戸に向けて車を走らせています。そこにテレビで阪神高速の崩壊現場の映像が……。これはえらいことやと、当日の会議の中止の連絡とまずは現地にと梯にロープに工具一式を準備し、四駆のトラックで急行しました。道路は比較的空いており8時過ぎに三宮に到着、変わり果てた神戸の街に唖然としながら、生田神社へ。勿論誰も来ていません。

それから身内の安否確認に翻弄し、その無事を確認してから、帰路に付きました。その帰りに、当時の加古川JCの理事長に連絡を取りながら、現地の悲壮さ、混乱を伝え、JC単独でなく、「東播磨地震対策協議会」の名前で他の団体にも声がけするようにしました。市長に相談し、活動拠点を加古川市民会館に置くことが出来、事務局をJCが担当し、救援活動に取り組みました。

その時です。「ボランティア」とはです。プロの行う「ボランティア」。炊き出しの用意はどうか、いろんな意見と交わす中、市内各自治会の自治会館にある炊事場を使って、婦人会の方々の協力を得れば、一度に大量のおにぎりが出来る。その搬送を我々のトラックを使えば、それぞれの得意分野が活かせるのではないかと、そうして救援活動を進むことが出来ました。

では、会社としてはどうする？ 弊社には浄化槽の維持管理業務に使用する汚泥吸引車を所有しています。避難所に設置された仮設トイレの清掃作業が出来るのではと、業界として県に掛け合い、困っている行政の要請を受け付けました。

結果、震災の2日後の19日には、芦屋市の要請を受け、加古川市環境事業協同組合より5台の車輛と10人の作業員が現場へ入り、私は陣頭指揮を執りました。芦屋市は下水道が99%整備されていまして、し尿の担当者は一人もいません。どうしたらいいのかわからないけど、何とかせなあかん。と公園管理課の課長が困惑。避難所の設置計画をヒヤリングしながら、仮設トイレ清掃管理計画を立案し、翌日から実行に移し、5月末まで長期間、連日作業にあたり、その成果をあげることが出来ました。加古川では通常の日常生活が出来ているのに、芦屋では非常事態です。そのギャップによるストレスを感じながら、奉仕活動でいろんな学びがありました。この仕事は汚泥吸引車という特殊車両が無くては出来ません。またしたこともないし尿収集です。職業差別を受けている仕事です。でも誰かがしないとイケない仕事です。専門技術、機材を使った「ボランティア」。弊社にしかできない「ボランティア」。社員も含め、大変な目に遭いましたが、このことが大きな経験となり、全国で初めて「災害時のトイレマニュアル」を兵庫県として発行するに至りました。取り留めのない話になりましたが、皆さんは、いま話を聞いてどう思われましたか？ 単なる経験談ですが、今月は「職業奉仕月間」です。この機会に「ボランティア」と「職業奉仕」について再考戴ければ幸いです。

今月の例会ですが、7月から12月までの上半期報告を戴くクラブ協議会となっております。各委員長様には、発表方よろしく申し上げます。

最後に非常に残念なお知らせがあります。あかつき証券の野際会員が、転勤の為、神奈川県平塚へ移動されます。折角馴染んで来られたところなんです、今日が最後の例会となります。ご健康にてのご活躍をお祈り申し上げます。

以上で会長の時間を終わらせて戴きます。
本日もよろしくお願い申し上げます。

幹事報告

- 1) ☆他クラブニュース 例会変更のお知らせ
 高砂青松RC ◇2月22日(水)→休会[定款第7条第1節(d)]
 加古川平成RC ◇2月 1日(水)→1月28日(土)午後3時～
 東播第2グループI. M.のため
 於;ウエディングパレス鹿島殿
 ◇2月 8日(水)→午後6時～ 新入会員歓迎例会のため
 於;かき庄
 ◇2月15日(水)→午後6時～ 3クラブ合同例会のため
 於;加古川プラザホテル2階
 ◇2月22日(水)→例会取消[定款第7条第1節(d)]
- 2) BOX にハイライトよねやまを入れております。

ニコニコ



- 省 略 ☺ 本日のクラブ協議会、各委員長の方々よろしくお祈りします。
 省 略 ☺ 野際会員、転勤先でもお元気でご活躍のほどお祈り申し上げます。
 省 略 ☺ 平成7年の今日、阪神・淡路大震災が発生しました。そのことも
 忘れないようにしたいと思います。
 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
 省 略 ☺ テーブルの花いただきます。

以上5件 ¥9,000-
 本年度累計¥1,187,000-

出席委員会

- ☆ 今 週 会員数 72 名 出席 36 名 出席免除 16 名 欠席 20 名
 ☆ 欠 席 者 省略
- ☆ 前 々 週 会員数 71 名 出席 49 名 出席免除 10 名 欠席 12 名
 ☆ メークアップ 職業奉仕セミナー 1/15 水川

親睦活動委員会

例会場当番

- 1月24日(火) 中田、水埜
 1月28日(火) 高浜、松尾



プログラム委員会

本日1月17日(火)	1月24日(火)	1月28日(土)	1月31日(火)
クラブ協議会 (前半期の報告)	優良職業人表彰 職業奉仕委員会 担当	東播第2グループI. M. 午後3時～ 於;ウエディングパレス鹿島殿 (2月14日の例会変更日)	新会員自己紹介 古庄担当

参加者の基盤を広げる: ハリデイさんに お聞きしました

ケイティ・ハリデイさんのプロフィール: アデレード・ライト・ロータリークラブ(オーストラリア)に所属。アデレードシティ・ローターアクトクラブ創立会員。多様性・公平さ・インクルージョン・タスクフォースのメンバー。

Q. ロータリーの行動計画は、参加者の基盤を広げることを呼びかけています。単に会員数を増やすというだけではなく、会員基盤についてどのようにもっと幅広く考えることができるでしょうか。

ハリデイ: これまでは会員数の目標、つまり「何名が入会したか？」に主な焦点を置いてきました。しかし、ロータリーが強く、効果的となり、次世代のリーダーを育てたいと願うのであれば、もっと多くの人を歓迎し、その後もずっとロータリーが居心地の良い場所であると感じてもらえるようにする必要があります。これは、もっと多様でインクルーシブ(包摂的)になり、すべての人に公平な機会を与えなければならないことを意味します。

Q. ロータリーが参加者の基盤を広げる上で、多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)が重要なのはなぜですか。

ハリデイ: 何より、それは正しいことだからです。多様性、公平さ、インクルージョンは政治的な問題ではありません。それは、私たちが互いに、そして地域社会に対して持つ責任です。私たちは皆、尊厳と尊重をもって扱われ、親睦と奉仕の平等な機会、そして、発言する平等な機会を持つ権利があります。ロータリーはグローバルな草の根の団体として、主導的な役割を担わなければなりません。

同時に、これは賢いことでもあります。入会候補者、特に職場 DEI を率先して実践した経験がある人は、DEI に消極的なクラブに嫌気がさすかもしれません。逆に、こうした人が、誰でも、どんなリーダーでも快く迎えているクラブに接すれば、最も効果的な親善大使となり、友人や知り合いにロータリーについて話してくれるでしょう。

さらに、異なる多くの視点をもつ参加者がいることで、より大きなインパクトをもたらすためのアイデアやプロジェクトの案が生まれると、クラブからも報告されています。これは驚くことではありません。職場での多様性、公平さ、インクルージョンの調査によると、背景、経験、意見の多様性は強みであることが示されています。

これは継続的な取り組みであり、成長し続けていくための機会です。大多数の会員は、ロータリーが取り入れている前向きな変化に勇気づけられ、やる気を高めていると思います。

Q. クラブはどのようにして参加者の基盤を広げ、DEI へのコミットメントを実践できますか。

ハリデイ: 重要な点が三つあります。まず、柔軟な会員モデルや例会の形式を通じて、クラブに参加しやすくすること。第二に、すべての会員が有意義な活動ができるようにすること。多様な背景をもつ人を例会や行事に招くだけでは十分ではありません。企画や意思決定にかかわってもらい、その貢献の価値を認める必要があります。最後に、外部の人の助けを借りること。多様性、公平さ、インクルージョンの研修において、地元の専門家と協力しましょう。これは、新たなパートナーシップを築く素晴らしい方法でもあります。

Q. DEI についてすべてのロータリー会員が知っておくべきことは何ですか。

ハリデイ: DEI は全員で取り組むことができ、また、そうするべきであるということです。リーダーだけでできることはありません。真に多様性があり、公平で、インクルーシブな文化があれば、持続可能な良い変化を生み、人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンを実現できる可能性が広がります。